

鼻のおくすり(点鼻薬)の 上手な使いかた

監修 ● 千葉ろうさい病院 病院長 岡本 美孝 先生

① おくすりを鼻にさす(点鼻)までの準備

鼻の汚れを取る

手をよく洗った後、鼻をかむなどして鼻の中の汚れを取り除いて下さい(①)。



2-1 滴下するタイプのおくすりのさしかた

頭を後ろに傾ける

鼻が上を向くような姿勢になって下さい。

(例) 仰向けになり
枕を肩の下にあてる



ポイント 1

嗅覚障害の 治療の場合

おくすりを鼻の中の奥のほう(鼻腔の上方)に浸透させる必要があるので、②のように鼻が真上を向くように注意して下さい。

おくすりをさす

容器の先が鼻に触れないようにして、おくすりをさして下さい(③)。さす量や回数は医師の指導に従って下さい。



そのままの状態を保つ

2～3分間そのままの状態ですべてのおくすりを浸透させて下さい。

おくすりがのどに出てきた(流れてきた)ときは、飲み込まずに吐き出して下さい。

2-2 噴霧するタイプのおくすりのさしかた

容器を鼻の穴にそっと入れる

噴出口のある容器の先を鼻の穴にそっと入れて下さい。



おくすりを噴霧する

うつむいて容器をまっすぐに立てて噴霧して下さい。
噴霧する量や回数は医師の指導に従って下さい。



鼻でゆっくり呼吸する

少し上を向いて、鼻でゆっくり呼吸して下さい。
(噴霧後は清潔なガーゼやティッシュペーパーなどで
容器の先をふき、キャップをして下さい。)



容器をよく振るタイプのおくすり

使う前に容器をよく振らなければならないおくすりもありますので、医師又は薬剤師の指導に従って下さい。

3 おわりに

余分なおくすりのふき取り

鼻の外におくすりが流れ出た場合は、清潔なガーゼやティッシュペーパーなどでふき取って下さい。

MEMO

施設名



塩野義製薬株式会社

SHIONOGI

RDE-C-0002 (V04) 審960857
2024年5月作成